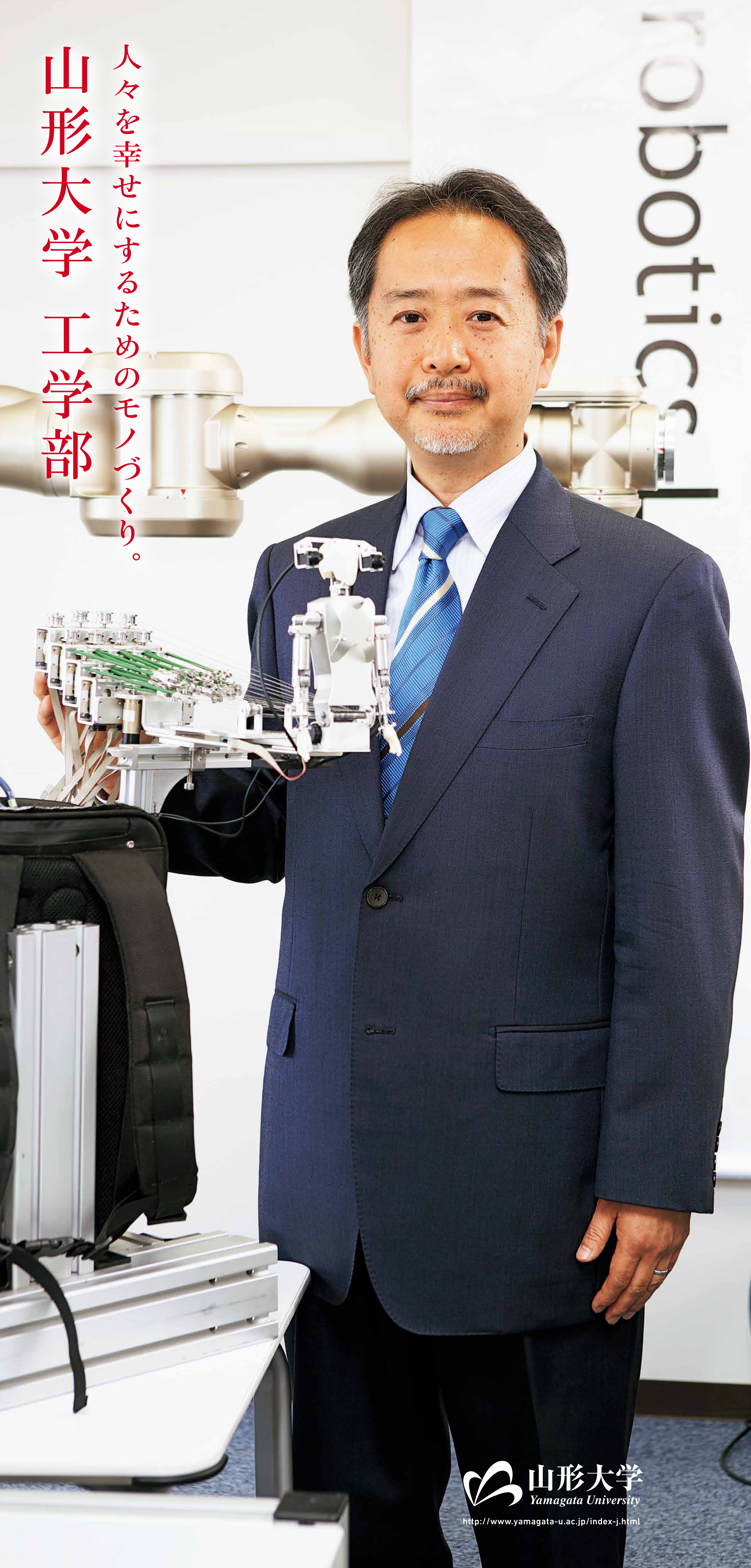


山形大学 工学部

人々を幸せにするためのモノづくり。



未来を創る、テレロボティクス

テレロボティクス

テレロボティクスとはロボットを遠隔操作するための学問領域です。私たちは、テレロボティクスの技術をベースに、人と人とのコミュニケーションを強化するロボットや深海や宇宙で活躍するロボットの研究を行っています。

ミニチュアヒューマノイドロボット

遠くを1人で旅行している時、家族や友人と同じ感動や経験を共有したいと思ったことはありませんか？私たちはこのような願いを実現するために、ミニチュアヒューマノイドと呼ぶウェアラブルな人型ロボットを開発しています。家に居ながら、まるでその場に居るかのような臨場感を呈示できるテレイグジスタンス技術の開発です。

深海から宇宙まで

2014年12月小惑星探査機「はやぶさ2」が打ち上げられました。はやぶさ2には、4機の小型探査ロボットが搭載されています。そのうちの一台は複数の大学から構成される大学コンソーシアムで開発されました。このロボットには地球の10万分の1の重力しかない特殊な環境でも移動できる4種類の機構が搭載されています。私たちは環境駆動型という新しい概念を提案し、その内の1台の開発にたずさわりました。一方、最近では、マッコウクジラが深海でダイオウイカを捕食しているところをビデオで撮影するための水中ロボットの開発にも取り組んでいます。

山形大学 教授

つまき ゆういち
妻木 勇一



ウェアラブルミニチュアヒューマノイドによるテレイグジスタンスシステム



はやぶさ2に搭載された小惑星探査ロボット用環境駆動型移動機構



イルカ観察用水中テレイグジスタンスシステム